

生きいき・播磨笑顔で楽しく学園祭 2018

11月10日(土)、あたりの山並みが秋色に染まり、おだやかな小春日和の中で、今年は兵庫県政 150 周年記念事業として、ゆうゆう学園(西播磨高齢者文化大学・大学院)の学園祭が盛大に開催されました。

玄関を入ると菊の香りが漂い、園芸クラブの丹精込めた菊が出迎えてくれました。隣室ではクラブの力作が並んだ作品展もあり、来場者を魅了しまし



大学4年生の歌・踊り

た。中庭では、バザーの店が多く並び、手打ちそば、牛すじカレー、たこ焼き、豚汁、手作りのパン、ラスク、手芸品等の販売もありました。佐用町コーナーでは、皆田和紙の紙漉き体験、トマトや竹炭饅頭の出店もあり、中庭は所狭しと賑わい、学園祭は笑顔があふれていました。

講堂では、オープニングで龍野邦楽三曲会の琴、尺八の演奏が厳かに始まり、学園の芸能発表は、学園祭担当学年の3年生による二人羽織から始まり、最後は4年生の歌と踊りで締めくくりました。中でも大学院2年生は、大学1年生から6年間毎年寸劇一筋で発表してきました。また、龍野北高校やエイサー俱



大学院2年生の寸劇

楽部ていだの皆様には学園祭を盛り上げていただきました。

最後は恒例の大抽選会です。豪華賞品がたくさん並んでいました。

今年の学園祭は、スローガン通り皆が「生きいき・播磨笑顔で楽しく学園祭 2018」であったと思えました。

【取材・文責：津志晴美】

オカリナと日本語教室で活躍

西播磨高齢者文化大学大学院に在籍している田淵洋男さん取材しました。

田淵さんは、オカリナのグループ「ポポロ会」の代表を務める傍ら、相生市で外国人の方に日本語を教えておられます。

田淵さんは、大学2年生の時に学園祭でオカリナの吹奏をすることになり、21名の全くの初心者に指導を始め、その後メンバーで、「ポポロ会」を立ち上げ、平成29年から「たつの市音楽祭」、「出る杭大会」、「西播磨生活創造



ポポロ会での練習風景

活動グループ交流会」の大舞台に出場するまでになりました。

また、西播磨文化会館を活動拠点として、オカリナ教室を月4回実施し、たつの市、宍粟市や姫路市内の高齢者介護施設への訪問も定期的に実施されています。

田淵さんは、5年前から「相生日本語教室」で日本語を教えておられましたが、平成30年5月から、急増したベトナム人を対象にした日本語教室を、空き家になっていた実家を活用し、毎週日曜日10時から15時まで開き、実家の畑を開放し、野菜作りも楽しんでおられます。

また、地域の人たちとの交流を深めるため、教室の生徒と一緒に、相生市内の高齢者介護施設を定期的に訪問されています。生徒は、日本語教室で習っ



実家で日本語教室

た歌やハンドベル・銭太鼓を披露し、多くの高齢者に喜ばれています。

言葉の壁・文化や生活習慣の違いもあるが、ベトナムの若者は、やさしくて、勤勉で真面目です。

外国からの就労者が、より日本人との距離を縮められるように、これからも関わっていきたいとのことでした。

【取材・文責：松本一己】